

2012年度名古屋大学大学院法学研究科
博士課程（前期課程）総合法政専攻国際法政コース

『アジア法整備支援事業に寄与する人材育成プログラム』
「日本語による法学教育クラス」
2012年10月入学

外国人留学生募集要項

Application
for the ‘Legal Education through Japanese Classes’
Personnel Development Program Contributing to Asian Legal Assistance

LL.M. (Comparative Law) Program in Law and Political Science
for International Students

Nagoya University Graduate School of Law, Japan

October Enrollment
Academic Year of 2012

2012年度名古屋大学大学院法学研究科博士課程（前期課程）総合法政専攻 国際法政コース「日本語による法学教育クラス」の概要と募集

はじめに

本研究科は、本研究科が組織として開始したアジアの体制移行国や発展途上国における法整備事業の担い手を育成することを目的とし、1999年度に英語による留学生特別コース（現在の博士課程「国際法政コース」）を設置し、英語による法学教育・研究指導を行ってきたが、2007年度に、これを再編し、「アジア法整備支援事業に寄与する人材育成プログラム」として、国際法政コース「英語による法学教育クラス」および「日本語による法学教育クラス」の2クラスを設けることとなった。

従来の英語によるプログラムは、「英語による法学教育クラス」に継続されるが、「日本語による法学教育クラス」は、「日本語の堪能な法律専門家の長期育成」事業*として本研究科が、海外に設置した日本法教育研究センターの修了生に、本研究科での教育の機会を与え、日本語によって日本法を理解することのできる専門家を、継続的・組織的に育成することを目的としている。同目的の下に、ここに、国際法政コース「日本語による法学教育クラス」への入学者を募集し、その選抜を実施する。なお、その選抜における上位合格者3名の外国人留学生は、日本政府奨学金（国費）の候補者として、本研究科から文部科学省に推薦される。

*「日本語の堪能な法律専門家の長期育成」事業は、海外の協定大学内に、名古屋大学日本法教育研究センターを設置し、同センターで、当該大学の学部学生から選抜された学生（定員20名）を対象に、卒業時までには日本語能力検定1級ないし2級に合格することを目標とする日本語の教育を行うとともに、日本語の学習がある程度進んだ段階から、日本語による日本法の教育を行うというものである。同センターは、2005年9月にウズベキスタンのタシケント国立法科大学に創設され、その後2006年9月にはモンゴル国立大学法学部に、2007年9月にはベトナム・ハノイ法科大学に、2008年9月にはカンボジア・王立法経大学に、それぞれ設置された。

募集方法、募集対象国、募集対象者

本コースの「日本語による法学教育クラス」の設置目的に沿って、名古屋大学又は本研究科と学術交流協定を締結しているこれらの国の法律専門家養成機関に設置された名古屋大学日本法教育研究センターにおける学習歴が3年以上の者で、法律学・政治学の大学教育を修了した者を対象として、募集する。

修了要件と取得学位

国際法政コースへの入学者は、修士（比較法学）の学位を取得するための学位取得要件を満たすことが求められる。

使用言語

同コースの「英語による法学教育クラス」の留学生には、講義・論文作成指導を英語で実施するが、「日本語による法学教育クラス」の留学生には、日本語による教育を行う。ただし、「日本語による法学教育クラス」を選択している者についても、帰国後、母国の法整備事業において国際的なネットワークが重要となることから、国際共通語としての英語による文献読解能力およびコミュニケーション能力が求められる。

出願にあたって

本大学院入学後は、日本語による授業を受けるとともに、指導教員の研究指導を受けながら修士論文を執筆しなければならない。したがって、十分な日本語能力とともに、2年間で、特定の研究課題に関する修士論文を完成させるだけの能力を備えていることが必要である。以上の趣旨から、応募に際しては、修士論文執筆を念頭に入れた具体的な研究課題を示す必要がある。

注意事項：

- (1) 出願書類の中の研究計画（Research Plan）の欄には、修士論文として完成させる具体的な研究課題を示し、その課題に対する問題意識、研究課題の詳しい内容、研究の進め方を記載すること。
- (2) 研究課題の特定に当たっては、名古屋大学法学部・大学院法学研究科のホームページ（<http://www.law.nagoya-u.ac.jp>（日本語）、または、<http://gsl-nagoya-u.net>（英語））の教員一覧を参照すること。

2012年度名古屋大学大学院法学研究科博士課程（前期課程）総合法政専攻

国際法政コース

『アジア法整備支援事業に寄与する人材育成プログラム』

「日本語による法学教育クラス」

外国人留学生募集要項

本募集要項は、本研究科国際法政コース『アジア法整備支援事業に寄与する人材育成プログラム』「日本語による法学教育クラス」への入学を希望する外国人留学生を対象とするものである。

なお、本プログラムに出願し、「日本語による法学教育クラス」に選抜された上位合格者2名は、日本政府文部科学省の奨学金（国費）候補者として本学より推薦されることになる。したがって、本コースへの募集では、国費奨学金の候補者としての選抜もあわせて実施する。

1 出願資格

1) 次の各号の一に該当する者で、日本国籍を有しない者

- (1) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2012年9月30日までに修了見込みの者
- (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2012年9月30日までに修了見込みの者
- (3) 日本の大学を卒業した者及び2012年9月30日までに卒業見込みの者
- (4) 独立行政法人大学評価・学位授与機構（旧学位授与機構）において、学士の学位を授与された者及び2012年9月30日までに授与される見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2012年9月30日までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 外国において学校教育における15年の課程若しくは我が国において外国の大学の課程（その修了者が学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、又は、2012年9月30日までに修了見込みで、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2012年9月30日までに22歳に達した者

（注）上記「1 出願資格」(8)により出願する者は、2011年11月29日（火）までに法学研究科入試担当へ問い合わせをすること。

2) 国際法政コース「日本語による法学教育クラス」への出願資格

上記の出願資格に加え、以下の要件すべてを満たす者であること。

- (1) 日本語能力試験2級以上、又は、それと同程度の日本語能力を有する者（選抜においては、1級が優先される。）
- (2) 日本法教育研究センターでの学習歴3年以上の者

2 募集人員及び対象者

総合法政専攻 35名（研究者養成コース及び応用法政コースの募集人員を含む）

3 出 願 書 類

- (1) 入学志願データシート
- (2) 名古屋大学院法学研究科総合法政専攻国際法政コース学生申請書 (Form No.1)
- (3) 専攻分野及び研究計画(日本語により作成すること) (Form No.2)
- (4) 最終出身大学の卒業証明書(又は、卒業見込証明書)、証明された学位記等(又は、学士授与見込証明書)
- (5) 最終出身大学の成績証明書(最終出身大学における成績が明確に判る指標が示されていること)
- (6) 最終出身大学において優秀であることを証明する学業成績(GPA、ABC のクラス分けおよび具体的な順位〈何人中第何位〉等)
- (7) 英語能力証明書(語学能力、専門能力を客観的に示す材料。例えば、TOEFL、TOEIC、又は、語学力評価書 (Form No.3-1)) 参考まで。
- (8) 日本語能力証明書(「日本語能力試験2級以上」に準ずる日本語能力を有することを証明するもの) 及び語学力評価書(日本語) (Form No.3-2)
- (9) 日本法教育研究センターでの在籍証明書(学習歴を証明するもの)
- (10) 所属大学等の研究科長レベル以上の者が作成したもので、本学学長宛の推薦状。在職者については、実務上の経験及び能力に関する推薦書で、勤務先の長等が作成したもの(日本語又は英語で記載すること)。(Form No.4)
- (11) 写真3枚(縦4.5cm×横3.5cm、上半身脱帽、正面写し、最近6か月以内に撮影したものを申請書所定の場所に貼付すること)
- (12) 研究上の実績・能力を示す公表された著書、論文、報告書等があれば、その論文内容の概要等、その論文内容を簡潔にまとめたものを作成し、添付すること。
- (13) 健康診断書 (Form No.5)
- (14) 辞退届 / Notice to Withdraw (Form No.6) 本研究科での選抜に合格し、合格通知を受け取った後、本研究科への入学を辞退する者は、2012年3月16日(金)までに、辞退届を本研究科に提出すること。
- (15) 本国の戸籍謄本又は市民籍等の証明書(パスポートの写し等、国籍を確認できる証明書)

注意事項:

- (1) これらの書類は、日本語又は英語のいずれかにより、A4サイズに統一して作成すること(その他の言語により作成されている場合は、日本語又は英語による訳文を添付すること)。
- (2) 提出書類は、一切返却しない。
- (3) 申請書類が不備な場合や、提出期日を過ぎたものは、一切受理しない。

4 出 願 手 続

願書受付期間: 2012年1月27日(金)16時までに必着のこと。

出願先: 日本国 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院法学研究科入試担当

5 選抜方法および試験日程

本研究科による選考は、書類審査および面接により行う。

- (1) 書類審査: 提出された研究計画書、推薦書、成績証明書、語学能力証明書等の書類を総合的に審査する。書類審査の可否結果は、2月中旬に、推薦機関および本人宛に通知する。
- (2) 面接: 面接は、2012年2月中旬頃、書類審査合格者について、日本語により、行う。面接は、主に、各人の研究計画について行う。

6 面接選考結果

2012年3月末に、本人宛に通知する。

なお、本コース「日本語による法学教育クラス」への上位合格者2名については、日本政府奨学金(国費外国人留学生)の候補者として、日本国文部科学省に推薦することとする。

MEXT 奨学金への採用結果は、2012年7月に本人宛に通知する。

7 入学手続

入学手続の詳細については、合格通知書の送付とともに通知する。指定の日時に入学手続を行わない場合は、本研究科への入学を辞退したものと取り扱うので十分注意すること。

入学手続時には、入学料等の納入をすること。

- 入学料 282,000円(予定額)
- 授業料 前期分 267,900円(予定額) [年額 535,800円(予定額)]

なお、日本政府文部科学省の奨学金(MEXT 奨学金)に採用された者は、上記入学料・授業料の納入は免除される。

注意事項:

- 入学時又は在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用される。
- 入学料は入学手続時に、半期分の授業料を10月に納入すること。納入済の入学料及び授業料は返還しない。
- 本研究科には、入学料・授業料の免除・徴収猶予の制度があるので、私費留学生で希望する場合は、入学料・授業料を納入せずに、入学手続時に申請書類の交付を受けて、所定の期間内に申請すること。
- 出願期限までに所定の書類が完備しない願書は受理しない。また、出願手続後は、いかなる事情があっても書類の書き換え及び入学検定料の返納はしない。
- 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学許可を取り消すことがある。

8 個人情報の取り扱い

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「名古屋大学個人情報保護規程」に基づき、適切に管理する。
- (2) 出願時に得た住所、氏名、生年月日その他の個人情報については、入学者選抜、合格発表、入学手続業務を行うために利用する。
- (3) 出願時に得た個人情報内容及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用する。また、入学者についてのみ①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。

9 その他、照会先等について

- 入学試験・募集要項に関する照会先:

住所: 日本国、〒464-8601、名古屋市千種区不老町 B4-5(760) 名古屋大学大学院法学研究科入試担当

- 本研究科のカリキュラム、スタッフ等に関する情報:

名古屋大学法学部・法学研究科のホームページ(<http://www.law.nagoya-u.ac.jp>)、または、英語によるホームページ(<http://gsl-nagoya-u.net>)を参照すること。

- 募集要項の取り寄せ:

原則として、本研究科と学術交流協定を締結する機関を通して募集要項を取り寄せること。

2011年10月
名古屋大学大学院法学研究科

国費外国人留学生(日本政府文部科学省奨学金)への応募資格等について

1 応募資格および条件

- (1) 対象：大学院レベルの外国人留学生として、新たに海外から留学する優秀な(※1)者。
- (2) 国籍：日本国政府と国交のある国の国籍を有すること。
- (3) 年齢：1976年4月2日以降に出生した者。
- (4) 健康：心身ともに大学における学業に支障がないこと。
- (5) 出願資格：2012年度名古屋大学大学院法学研究科博士課程(前期課程)または(後期課程)総合法政専攻国際法政コース「日本語による法学教育クラス」2012年10月入学外国人留学生募集要項1.「出願資格」(p.2)のとおり。
- (6) 学業成績(※1)一直近2年間の学業成績係数が2.30以上であり、奨学金支給期間中においてもこれを維持する見込みがある者を対象とする。

学業成績は正規課程(学部・大学院)の成績のみを用い、研究生や日本語学校などの成績を含めないこと。ただし、セメスター制度を採用しており、前期の成績が判明している場合は、その成績が判明している直近2年間の学業成績係数を算出すること。

係数の算出ができない場合は、算出できない理由と学業成績係数が2.30以上に相当すると判断した根拠を記した書面を提出すること。この場合、単に「研究内容が優秀と認められるため」といった記載は認められない。必ず客観的事実を根拠とすること。

〔※1 学業成績係数の算出方法〕

下記の表により「評価ポイント」を算出し、計算式に当てはめて計算すること。

区分	成績評価				
4段階評価		優	良	可	不可
4段階評価		A	B	C	F
4段階評価		100～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価	S	A	B	C	F
5段階評価	A	B	C	D	F
5段階評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
評価ポイント	3	3	2	1	0

(計算式)

$$\begin{aligned}
 & (「評価ポイント3の単位数」 \times 3) + (「評価ポイント2の単位数」 \times 2) + (「評価ポイント1の単位数」 \times 1) \\
 & + (「評価ポイント0の単位数」 \times 0) / \text{総登録単位数}
 \end{aligned}$$

(注1)履修した授業について単位制をとらない場合は、単位数を科目数に置き換えて算出すること。

(注2)上表の成績評価にない評価(例えば、「認定」、「合格」など)は対象としないこと。

(注3)学業成績係数に端数が出る場合は、小数点第3位以下を切り捨てること。

- (7) 渡日時期：大学の指定する日(2012年9月末あるいは10月初旬を予定)に必ず出国し、渡日の可能な者。(所定の時期に渡日できない場合は、採用を辞退すること。自己の都合により所定の時期以前に渡日する者には渡日旅費を支給しない。)
- (8) 査証取得：渡日時に「留学」の査証を必ず取得していること。また、採用された者が、例外的に、採用前に「留学」以外の在留資格で日本に在留し日本国内で資格変更する場合は、奨学金支給開始予定月の前月末日までに在留資格

を「留学」とする必要があるので留意すること。（「留学」以外の査証あるいは在留資格をもって渡日する者は国費外国人留学生の資格は有しない。また、本邦入国後在留資格を「留学」以外に変更した者についても、在留資格変更時点で国費外国人留学生としての資格を喪失するので留意すること。）

(9) その他：次に掲げる者については、S。採用以降に判明した場合には辞退すること。

[1] 現役軍人又は軍属の資格の者。

[2] 受入大学の指定する期日に渡日できない者。

[3] 過去に国費外国人留学生であった者については、終了後採用時まで3年以上の教育研究の経歴がない者。ただし、帰国後、在籍大学を卒業した日本語・日本文化研修留学生及び帰国した日韓共同理工系学部留学生が、研究留学生として応募する場合はこの限りではない。

[4] 日本政府（文部科学省）以外の機関（自国政府機関を含む。）から奨学金等を受給する者。

[5] 本奨学金における他大学との重複申請、日本政府（文部科学省）及び（独）日本学生支援機構が実施している留学生を対象とした支援制度に併願している者。（これまで日本政府（文部科学省）及び（独）日本学生支援機構が実施している留学生を対象とした支援制度により採用され、引き続き、2011年度の10月期の学期以降も在籍予定の者も含む）

[6] 2012年度に私費外国人留学生として本邦大学に在籍予定であり、10月期の学期以降も在籍予定の者。

2 奨学金支給期間

○渡日後、大学院修士課程に在籍する場合は、2012年10月から2年間（予定）とし、大学院博士前期課程に在籍する場合は、2012年10月から3年間（予定）とする。

○修士課程から博士課程に進学希望の者で、一定の基準を満たす特に成績優秀な者については、厳格な審査の上、奨学金支給期間が延長される場合がある。一定の基準を満たしたとしても全員が必ず認められるものではない。また、奨学金支給期間の延長は、進学に伴う場合のみであることに留意すること。

なお、大学院修士課程から博士課程に進学する場合、他大学大学院への進学は認めない。

3 奨学金等

(1) 奨学金：2012年度の奨学金月額はまだ未定であるため、参考として2011年度奨学金月額を以下のとおり示す。（なお、予算、物価等の状況により各年度で月額は変更を含め見直される。）

2011年度実績：月額154,000円（博士前期課程）、155,000円（博士後期課程）

ただし、大学を休学又は長期に欠席した場合、奨学金は支給されない。

なお、次の場合には、原則として奨学金の支給を取り止める。また、これらに該当するにもかかわらず奨学金を受給した場合、該当する期間に係る奨学金の返納を命じることがある。

[1] 申請書類に虚偽の記載があることが判明したとき。

[2] 文部科学大臣への誓約事項に違反したとき。

[3] 大学において退学等の懲戒処分を受けたとき、あるいは除籍となったとき。

[4] 学業成績等不良や停学等により標準修業年限内での修了が不可能であることが確定したとき。

[5] 当該大学を退学したとき又は他の大学院に転学したとき。

[6] 入管法別表第一の四に定める「留学」の在留資格が他の在留資格に変更になったとき。

[7] 他の奨学金（使途が研究費として特定されているものを除く）の支給を受けたとき。

[8] 採用後、定められた奨学金支給期間延長の承認を受けずに上位の課程に進学したとき。

(2) 旅費

[1] 渡日旅費：文部科学省は、旅行日程及び経路を指定して、渡日する留学生の居住地最寄りの国際空港から受入大学が通常の経路で使用する国際空港までの下級航空券を交付する。なお、渡日する留学生の居住地から

最寄りの国際空港までの旅費、空港使用料、空港税、渡航に要する特別税、日本国内の旅費等は留学生の自己負担とする。（「留学生の居住地」は原則として申請書に記載された現住所とする。）また、国籍国以外からの航空券は支給しない。

- [2] 帰国旅費：奨学金支給期間終了月内に帰国する留学生については、本人の申請に基づき、受入大学が通常の経路で使用する国際空港から当該留学生が帰着する場所の最寄りの国際空港までの下級航空券を交付する。

（注）渡日及び帰国旅行の際の保険金は、留学生の自己負担とする。また、出発及び到着空港は留学生が国籍を有する国の空港に限る。

- （3）授業料等：入学金のおよび授業料は免除される。

4 提出書類および選考について

2012年度名古屋大学大学院法学研究科博士課程（前期課程）綜合法政専攻国際法政コース「日本語による法学教育クラス」2012年10月入学外国人留学生募集要項3.「出願書類」、および、5.「選抜方法および試験日程」（p.3）のとおり。

※不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

- ◇ 法学部・法学研究科ホームページ（入試情報）

URL <http://www.law.nagoya-u.ac.jp/examination/index.html>

- ◇ 連絡窓口

名古屋大学大学院法学研究科入試担当

TEL 052-789-2316・2317

Application Data Sheet

LL.M. (Comparative Law) Program in Law and Political Science for International Students

Nagoya University Graduate School of Law

名古屋大学大学院法学研究科博士課程(前期課程)総合法政専攻国際法政コース入学志願データシート

Name (姓名)	Family Name First Name Middle Name			<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>Paste your passport-size photograph taken within the past 6 months.</p> <p>Write your name and nationality in block letters on the back of the photo.</p> <p>(4.5 cm × 3.5 cm photo) (写真 (4.5cm × 3.5cm))</p> </div>
Date of Birth (生年月日)	Year Month Day		Age, as of April 1, 2012 ()	
Nationality (国籍)				
Present Address (Mailing Address) (現住所)	Phone no.: Fax no.: E-mail address:			
Last School you have graduated from /will graduate from (最終学歴)	Name of Institution			
	Address			
	Date Attended			
	Major Field			
	Degree or Diploma (Date received)			
Current Position (現職)	Name of Institution and Position			
	Address:			
	Phone no.: Fax no.: E-mail address:			
Research Topic (will research in our school) (本研究科での研究テーマ)				
English Language Proficiency (英語能力)	TOEFL SCORE () or others ()			
Japanese Language Proficiency (日本語能力)				
Letter of Recommendation from (推薦者名)	Name			
	Name of Institution and Position			
	Contact no. (Phone & Fax no., E-mail address)			
	Relationship to Applicant			

※ Office Use Only

- ☐ Application for the LL.M. (Comparative Law) Program <Form No.1>
☐ Field of Study and Proposed Study Program <Form No.2>
☐ Certificate of Language Proficiency (with its proof) or Form No.3-1 & 3-2
☐ Degree Certificate
☐ Official Academic Transcript
☐ Letter of Recommendation <Form No.4>

- ☐ Two Photos
☐ Publications, if any
☐ Official Certificate of Citizenship (A copy of passport) or Certified Letter of Alien Registration
☐ Certificate of Health <Form No.5>
☐ Contact Address Labels
☐ Notice to Withdraw <Form No.6>

Date received / /

FORM FOR ADMISSION ON THE LL.M. (COMPARATIVE LAW) PROGRAM
IN LAW AND POLITICAL SCIENCE FOR INTERNATIONAL STUDENTS, 2012
2012年度名古屋大学大学院法学研究科総合法政専攻国際法政コース学生申請書

INSTRUCTIONS (記入上の注意)

1. The application should be typed if possible, or neatly handwritten in block letters. (明瞭に記入すること。)
2. Numbers should be in Arabic numerals. (数字は算用数字を用いること。)
3. Years should be written using the Anno Domini system. (年号はすべて西暦とすること。)
4. Proper nouns should be written in full and not abbreviated. (固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。)

* Personal data entered in this application will only be used for scholarship selection purposes, and contact information such as e-mail addresses will only be used for forming related human networks after the student returns home and for sending of information by the Japanese Government.)

(本申請書に記載された個人情報については、本奨学金の選考のために使用するほかは、特に E-mail アドレス等の連絡先については、帰国後における関係者のネットワークを作ること及び必要に応じ日本政府より各種情報を送信する以外には使用しない。)

1. Name in full in native language _____ (Sex)
(姓名 (自国語)) (Family name) (First name) (Middle name) ☐ Male (男)
☐ Female (女)
- In Roman block capitals _____ (Marital Status)
(ローマ字) (Family name) (First name) (Middle name) ☐ Single (未婚)
☐ Married (既婚)
- (Write your name exactly same as is printed in your passport)

2. Nationality _____ ※Possession of Japanese nationality ☐ Yes, I have. (はい)
(国 籍) ☐ No, I don't have it. (いいえ)

3. Date of birth (生年月日)

19 _____

Year (年) Month (月) Day (日) Age (As of April 1, 2012) (年齢 2012年4月1日現在)

4. Present status with the name of the university attended or employer
(現職 (在学大学名又は勤務先名まで記入すること。))

Paste a passport sized
photograph or digital
image taken within the
past 6 months. Write your
name and nationality in
block letters on the back
of the photo.

(4.5 cm × 3.5 cm photo)
(写真 (4.5cm × 3.5cm))

5. Present address and telephone number, facsimile number, e-mail address
(現住所及び電話、ファックス番号、E-mail アドレス)

現住所 (Present address): _____

電話番号/FAX番号 (Telephone/facsimile number): _____

E-mail address: _____

* If possible, write an e-mail address that can be used for periods including the time before you come to Japan, your stay in Japan and the period after you return home.

(可能な限り、渡日前～日本留学中～帰国後にわたり使い続けることが予想される E-mail アドレスを記入すること。)

6. Field of specialization studied in the past (Be as detailed and specific as possible.)
(過去に専攻した専門分野 (できるだけ具体的に詳細に書くこと。))

7. Educational background (学歴)

	Name and Address of School (学校名及び所在地)	Date (month & year) of Entrance and Completion (入学及び卒業年月)	Period of schooling you have attended (修学年数)	Diploma or Degree awarded, Major subject (学位・資格、専攻科目) When taking leave of absence, the period and reason. (休学した場合はその期間・理由)
Elementary Education (初等教育) Elementary School (小学校)	Name (学校名) Location (所在地)	From (入学) month(月)/year(年) ____ / ____ To (卒業) month(月)/year(年) ____ / ____	____ years (年) and ____ months (月)	
Secondary Education (中等教育) Lower Secondary School (中学)	Name (学校名) Location (所在地)	From (入学) month(月)/year(年) ____ / ____ To (卒業) month(月)/year(年) ____ / ____	____ years (年) and ____ months (月)	
Upper Secondary School (高校)	Name (学校名) Location (所在地)	From (入学) month(月)/year(年) ____ / ____ To (卒業) month(月)/year(年) ____ / ____	____ years (年) and ____ months (月)	
Higher Education (高等教育) Undergraduate Level (大学)	Name (学校名) Location (所在地)	From (入学) month(月)/year(年) ____ / ____ To (卒業) month(月)/year(年) ____ / ____	____ years (年) and ____ months (月)	
Graduate Level (大学院)	Name (学校名) Location (所在地)	From (入学) month(月)/year(年) ____ / ____ To (卒業) month(月)/year(年) ____ / ____	____ years (年) and ____ months (月)	
Total years of schooling mentioned above (以上を通算した全学校教育修学年数) as of April 1, 2012 (2012年4月1日現在)			____ years (年)	

* If the blank spaces above are not sufficient for information required, please attach a separate sheet.

((注) 上欄に書ききれない場合には、適当な別紙に記入して添付すること。)

8. State the titles or subjects of books or papers (including graduation thesis authored by the applicant), if any, with the name and address of publisher and the date of publication.

(著書、論文(卒業論文を含む。)があればその題名、出版社名、出版年月日、出版場所を記すこと。)

* Please attach abstracts of those papers to this application.

((注) 論文の概要を添付のこと。)

9. Employment Record: Begin with the most recent employment, if applicable. (職歴)

Name and address of organization (勤務先及び所在地)	Period of employment (勤務期間)	Position (役職名)	Type of work (職務内容)
	From month / year _____ _____ To month / year _____ _____		
	From month / year _____ _____ To month / year _____ _____		

10. Japanese language proficiency: Evaluate your level and fill in with an × where appropriate in the following blanks.

(日本語能力を自己評価のうえ、該当欄に×印を記入すること。)

	Excellent (優)	Good (良)	Fair (可)	Poor (不可)
Reading (読む能力)				
Writing (書く能力)				
Speaking (話す能力)				

11. Foreign language proficiency: Evaluate your level and fill in with an × where appropriate in the following blanks.

(外国語能力を自己評価のうえ、該当欄に×印を記入すること。)

	Excellent (優)	Good (良)	Fair (可)	Poor (不可)
English (英語)				
French (仏語)				
German (独語)				
Spanish (西語)				

12. Have you been awarded the Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship in the past? If so, please specify the period, the name of the university, etc.

(過去に国費留学生に採用されたことがあるか。あるならば、その期間及び受入大学名等を記入すること。)

- a) Yes, I have. Period: _____ University: _____
(ある。) (期間) (大学名等)
- b) No, I have not.
(ない。)

13. Accompanying Dependents (Provide the following information if you plan to bring any family members to Japan.)

同伴家族欄（渡日する場合、同伴予定の家族がいる場合に記入すること。）

* All expenses incurred by the presence of dependents must be borne by the grantee. He/She is advised to take into consideration various difficulties and the great expense that will be involved in finding living quarters. Therefore, those who wish to be accompanied by their families are advised to come alone first and let their dependents come after suitable accommodation has been found.

（（注）なお同伴者に必要な経費はすべて留学生の負担であるが、家族用の宿舍をみつけることは相当困難であり賃貸料も非常に割高になるのであらかじめ承知されたい。このため、留学生はまず単身で来日し、適当な宿舍をみつけた後、家族を呼び寄せること。）

Name (氏名)	Relationship (続柄)	Age (年齢)

14. Person to be notified in applicant's home country, in case of emergency:

（緊急の際の母国の連絡先）

i) Name in full:

（氏名）_____

ii) Address: with telephone number, facsimile number, e-mail address

（住所：電話番号、ファックス番号又は E-mail アドレスを記入のこと。）

現住所 (Present address):

電話番号／FAX 番号 (Telephone/Facsimile number):

E-mail address:

iii) Occupation:

（職業）_____

iv) Relationship:

（本人との関係）_____

15. Immigration Records to Japan（日本への渡航記録）

Date (日付)	Purpose (渡航目的)
From To	
From To	

(I understand and accept all the matters stated in the Application for Japanese Government (MONBUKAGAKUSHO: MEXT) Scholarship for 2012, and hereby apply for this scholarship.)

(私は2012年度日本政府（文部科学省）奨学金留学生募集要項に記載されている事項をすべて了解して申請します。)

Date of application:

(申請年月日)

Applicant's signature:

(申請者署名)

Applicant's name

(in Roman block capitals):

(申請者氏名)

Field of Study and Proposed Study Program

専攻分野及び研究計画

Applicant's Name in full

(姓名)

Family name

First name

Middle name

Nationality

(国籍)

Since graduate research is self-directed, this section will become one of the most important criteria in the selection process. State the outline of your major field of study and of your academic interest on this sheet in English and the details of your proposed research program on the next attached sheet. Statement must be typewritten or written in block letters.

(修士課程での研究は自発的なものであり、この研究計画は、選抜過程において最も重要な判断基準の一つとなる。この頁には、専攻分野の概要および研究関心を、次頁には、日本での研究計画の詳細を記入すること。記入は、タイプ又は楷書によるものとし、必要な場合は、別紙を追加してもよい。)

If you have Japanese ability, write in Japanese.

(相当の日本語能力を有する者は日本語で記入すること)

1. Field of Study (専攻分野)

State briefly the areas of your study and of your academic interest within 1,000 words.

(専攻分野の概要および研究関心を2,000字(日本語)以内で記入のこと)

2. Proposed Study Program in Japan in detail（研究計画：詳細に記入すること。）

Describe details of your research proposal, discussing one possible research topic. In addition, indicate the background and purpose of your study at this program, and explain how this research and study connects with what you have done in the past and how it relates to your long-term goals. Your entire statement should be within 1,500 words. Additional sheets of paper may be attached, if necessary.

（研究予定の一つの論題について検討し、研究計画の詳細を記述すること。そして、過去の研究といかに関連し、将来の目標と結びつくかを説明し、本コースにおける研究の背景と目的を示しなさい。なお、文章は、全体で3000字（日本語）以内でなければならない。また、必要ならば、用紙を追加してもよい。）

Title of your proposed master's thesis（修士論文の研究課題）

Evaluation of English Language Proficiency 語学力評価書（英語）

※ A teaching staff in charge of English education or the equivalent must complete this form.
（英語教師あるいは準ずる者が記入すること）

Applicant's Name _____
（姓名）

1. Evaluation of applicant's ability in English ※Please check the appropriate space below
（英語能力診断 ※該当欄をチェックすること）

	Excellent（優）	Good（良）	Fair（可）	Poor（不十分）	No ability（不可）
Speaking （話す能力）					
Listening （聞く能力）					
Writing （書く能力）					
Reading （読む能力）					

2. Method used to test the applicant's ability（能力評価法）

3. Has the applicant ever taken the TOEFL test (Test of English as a Foreign Language), IELTS (International English Language Testing System), or TOEIC (Test of English for International Communication)?

（過去に TOEFL、IELTS、TOEIC を受験したことがあるか。）

i) Yes (Please attach an official score report of the test, if available)
（ある）

Official name of the test: _____
（テストの正式名）

Score: _____, Date: _____ day _____ month _____ year
（点数）（日付）（日）（月）（年）

ii) No
（ない）

4. Remarks（コメント）

Date _____
（日付）

Name / Signature _____
（評価者名 / 署名）

Affiliation / Title _____
（所属 / 身分）

Address _____
（住所）

Evaluation of Japanese Language Proficiency 語学力評価書（日本語）

※ A teaching staff in charge of Japanese education or the equivalent must complete this form.
（日本語教師あるいは準ずる者が記入すること）

Applicant's Name _____
(姓名)

1. Evaluation of applicant's ability in Japanese ※Please check the appropriate space below
(日本語能力診断 ※該当欄をチェックすること)

	Excellent (優)	Good (良)	Fair (可)	Poor (不十分)	No ability (不可)
Speaking (話す能力)					
Listening (聞く能力)					
Writing (書く能力)					
Reading (読む能力)					

2. Method used to test the applicant's ability (能力評価法)

3. Has the applicant ever taken the Japanese Language Proficiency Test?
(過去日本語能力試験を受験したことがあるか。)

i) Yes (Please attach an official test score report, if available)
(ある)

Score: _____, Date: _____ day _____ month _____ year
(点数) (日付) (日) (月) (年)

ii) No
(ない)

4. Remarks (コメント)

Date _____
(日付)

Name / Signature _____
(評価者名 / 署名)

Affiliation / Title _____
(所属 / 身分)

Address _____
(住所)

Letter of Recommendation 推薦状

To: Dr. HAMAGUCHI Michinari
President of Nagoya University

※To the RECOMMENDER: Please write a statement concerning the applicant, stating how long and in what connection you have known him/her, your evaluation of his/her character, your speculation on the applicant's potential for success as a graduate student and his/her potential for independent research (use space below)

On behalf of

(Name of Applicant):

Family

First

Middle

Signature _____ Date _____

Recommender's Name _____

Position _____

Institution _____

Relationship to Applicant _____

Address _____

Phone Number _____ Fax Number _____

E-mail _____

We highly appreciate the time and effort that you have taken to provide us with these comments.

Please return to applicant after sealing it by yourself.

健康診断書

CERTIFICATE OF HEALTH (to be completed by the examining physician)

日本語又は英語により明瞭に記載すること。

Please fill out (PRINT/TYPE) in Japanese or English.

受診者氏名 _____ ☐ 男 Male 生年月日 _____ 年齢 _____
 Applicant's Name: _____ ☐ 女 Female Date of Birth: _____ Age: _____
 Family name First name Middle name

1. 身体検査

Physical Examinations

- (1) 身長 _____ cm 体重 _____ kg
 Height Weight
- (2) 血圧 _____ mm/Hg ~ _____ mm/Hg 血液型

A	B	O
---	---	---

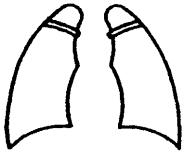
 RH

+
-

 脈拍 ☐ 整 regular
 Blood pressure Blood Type Pulse ☐ 不整 irregular
- (3) 視力 Eyesight: (R) _____ (L) _____ (R) _____ (L) _____ 色覚異常の有無 ☐ 正常 normal
 裸眼 without glasses 矯正 with glasses or contact lenses color blindness ☐ 異常 impaired
- (4) 聴力 ☐ 正常 normal 言語 ☐ 正常 normal
 Hearing: ☐ 低下 impaired Speech: ☐ 異常 impaired

2. 申請者の胸部について、聴診とX線検査の結果を記入してください。X線検査の日付も記入すること（6ヶ月以上前の検査は無効。）

Please describe the results of physical and X-ray examinations of applicant's chest x-ray (X-ray taken more than 6 months prior to the certification is NOT valid).



肺 ☐ 正常 normal
 Lung: ☐ 異常 impaired

心臓 ☐ 正常 normal
 Cardiomegaly: ☐ 異常 impaired

← Date _____
 Film No. _____

Describe the condition of applicant's lung.

異常がある場合
 心電図 Electrocardiograph: ☐ 正常 normal
☐ 異常 impaired

3. 現在治療中の病気 ☐ Yes (Disease: _____)
 Disease Treated at Present ☐ No

4. 既往症

Past history : Please indicate with + or - and fill in the date of recovery.

Tuberculosis ☐ (. . .) Malaria ☐ (. . .) Other communicable disease ☐ (. . .)
 Epilepsy ☐ (. . .) Kidney Disease ☐ (. . .) Heart Diseases ☐ (. . .)
 Diabetes ☐ (. . .) Drug Allergy ☐ (. . .) Psychosis ☐ (. . .)
 Functional Disorder in extremities ☐ (. . .)

5. 検査 Laboratory tests

検尿 Urinalysis: glucose (), protein (), occult blood ()
 赤沈 ESR: _____ mm/Hr, WBC count: _____ /cmm 貧血 ☐
 Hemoglobin: _____ gm/dl, GPT: _____ anemia

6. 診断医の印象を述べて下さい。

Please describe your impression.

7. 志願者の既往歴、診察・検査の結果から判断して、現在の健康の状況は十分に留学に耐えうるものと思われますか？

In view of the applicant's history and the above findings, is it your observation his/her health status is adequate to pursue studies in Japan?

yes ☐ no ☐

日付 _____ 署名 _____
 Date: Signature:

医師氏名
 Physician's Name in Print: _____

検査施設名
 Office/Institution: _____

所在地
 Address: _____

Notice to Withdraw 辞退届

TO: Dean, Nagoya University Graduate School of Law, Japan

I respectfully wish to withdraw my Application for the LL.M. (Comparative Law) Program for International Students in Law and Political Science. I sincerely apologize for any inconvenience this will cause.

I understand that if this Notice to Withdraw is received by the Nagoya University Graduate School of Law **no later than the close of business on Friday, March 16, 2012**, I will be free to reapply in future years.

Date: _____
Day Month Year

Applicant's Signature: _____

Applicant's Name in Roman Block Capitals:

This is to certified by the institution which recommended the applicant to the Program:

Signature _____

Name _____

Institution and position _____

Contact address

Phone Number Fax Number

E-mail _____

※This notice must be sent by registered airmail to:

Student affairs section of the administrative office, Graduate School of Law, Nagoya University, B4-5 (700), Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601, JAPAN

(Fax: +81[Japan]-52-789-4910).